



楽しみながら  
健康も考えて

楽しみなが  
健康も考えて

医師や歯科医師、薬剤師などに直接相談ができる健康コーナーや、福祉団体と文化活動団体が日々の成果を発表するステージなど、幅広い内容で盛り上がる祭りを今年も開催しました。体力測定のコーナーでは、学生の頃によくやった反復横跳びや腹筋などをして、測定結果に一喜一憂する来場者たち。多目的広場に並んだ模擬店では、秋の過ごしやすい陽気の下、買い物や食事を楽しんでいました。



この日も  
16種類の  
野鳥を観察

平成6年の開講から、25周年を迎えたバードウォッチング。147種類もの野鳥が観察されている黒浜沼周辺で、市内外から43人が集まり双眼鏡やカメラを手にバードウォッチングを楽しみました。蒲澤一夫さんは、「鳥は恐竜の生き残りといわれ、奥が深い生き物だと思っています。これからも日本中の野鳥を見て回りたいです」と話してくれました。





学生も地元の人も  
みんなで  
盛り上がろう！

秋晴れの下開催された、人間総合科学大学学園祭。さまざまなお店や企画が並んだ他、映画「あの日のオルガン」の上映も行われ、おおぜいの来場者がぎわっていました。野外特設ステージでは学生のバンド演奏やよさこい演舞、にやんたぶうとはすぴいによるパフォーマンスなどがあり、観客もいっしょになつて手拍子をして楽しんでいました。

家族で来ていたすずきまこと・鈴木真さん・のりこ・徳子さん・杏奈ちゃんは、「昨年から学園祭に遊びに来ています。家族皆にやんたぶうが大好きなので、ステージを楽しみにしていました。学生や地元のかたが主体になつてイベントを盛り上げていて、温かい街だなど感じています」と話してくれました。



10/26

人間総合  
科学大学



村田均さんは、「土地や歴史を知ることができ、街に愛着が湧きました。ふだん車では見逃してしまうような場所も、ウオーキングだと景色の隅々にまで目を向けられていいですね」とカメラのシャッターを切つていきました。

毎年恒例となつた「秋だ！」コスモスだ！ウォーキング！」。約80人の参加者たちは、蓮田駅からグループごとに見沼代用水沿いの緑のヘルシーロードを進み、立ち寄つた五庵橋や久伊豆神社ではボランティアガイドによる解説に興味深そうに耳を傾けていました。閨戸地内にある休憩ポイントの古民家では、見頃を迎えたコスモスを眺めながら豚汁に舌鼓。その後も十三塚古墳跡などの市内の史跡を巡りました。

**村田均**さんは、「土地や歴史を知ることができ、街に愛着が湧きました。ふだん車では見逃してしまうような場所も、ウォーキングだと景色の隅々まで目を向けられていいですね」とカメラのシャッターを切つていました。



卓球指導者で、平野みう選手の母である、平野真理子さんの講演が行われました。さまざまなものに触れさせ、自分で選択する力も養うなど、個性を大事にした子育てエピソードに聞き入る来場者たち。障がいの有無に関係なく、みんなが楽しめる社会を広げることが夢だと語った平野さんは、最後に「大人も夢を持ち笑顔で過ごすことが、一番の子育てです」と、メッセージを送りました。



心と体を  
癒します

心と体を  
癒します

ゆっくり  
とした動作  
で体重移動し全身運動を行  
うことから、バランス能力や  
持久力の向上の他、リラクゼー  
ション効果もある太極拳。参加者は、力を抜き、  
呼吸を意識しながらポーズを取っていきました。佐藤博さんは、「いい運動になり、終わつた後は爽快感があります。これからも継続して  
参加していきたいです」と魅力を語ってくれました。



コミュニティ講演会（11月2日・ハストピア）